

松山大学論集
第三十二卷第三号
令和二年八月発行

雑誌『国際知識及評論』
総目次(二)

伊藤信哉

資料

雜誌『國際知識及評論』総目次(二)

伊藤信哉

第一九卷一〇号 (一九三九年一〇月一日)

独ソ接近と欧洲大戦.....	法学博士 鹿島守之助	一―一〇
欧洲大戦と米国中立法の発動.....	東大教授・法博 神川彦松	一―一二〇
ヨーロッパの異変と日本.....	報知外報部長 小室誠	二―一三一
独ソ接近の重大意義／冷背をそ向けられたる日本／『精神的無宿』の独逸／独逸と道義外交／英国は依然敵性的存在なり／自主独往外交と不介入声明／東亜新秩序確立の緊急性／対通商、対米ソ策如何		
汪兆銘氏の新出路.....	大毎東亜通信部長 長岡克暁	三―一四〇
随筆・随評.....		四―一五一
独蘇不侵略条約偶感 (中外商業新報社長 田中都吉)／さきの世界大戦を追憶して (元外相・男爵 松		

井慶四郎／世界大戦と米国（清沢冽）／棚ざらしの戦争（高岡高商教授 細野日出男）

列国輸出禁止品目……………四八―四八

新刊 パウル・アインツヒ著田中信太郎訳『戦争経済論』高山書院……………五一―五一

独逸の統制経済……………明大教授・商博 田中貢……………五二―五九

失業撲滅に乗出す／経費は手形で支弁／六十億馬克を調達／売上税収がトップ／予算分権主義絶無／個

人の創意を生ず統制／統制は専門家の手で／朝令暮改も辞せず／国家自ら模範を示す／官営企業極力避

く

支那関税問題の国際的意義……………産業統計研究所理事 田畑為彦……………六〇―六六

欧洲列国武力比較……………六七―六七

国際漫画……………六八―七一

THE VOICE OF A TEMPTER／PEACE OR WAR／AN IMPORTANT DECISION／THE THIRD ROUND

時評……………稲原勝治……………七二―九〇

露独不侵略条約成る／条約の意味するもの／竟に欧洲戦へ／長期戦の場合／防共協定の死滅／中絶した

東京会談／米国に便乗す／第六次全国代表大会／蒙古聯合自治政府成る

国内政情……………編輯部……………九一―一〇〇

欧洲対策再検討／退却直前の平沼内閣の外交措置／平沼内閣の挂冠／阿部内閣の誕生／阿部内閣の方針

／欧洲動乱に対する方針決定／各省主要人事

時報……………編輯部……………一〇一―一六五

（東亜）欧洲戦乱に対する帝国の態度／満洲国其他欧戦不介入声明／日英会談遂に決裂／汪兆銘運動の

進展／国民党（汪派）六全大会開催／蒙古聯合自治政府成立／華興券建関稅徵收實施／北樺太利權問題
 解決未だし／ノモンハン停戰協定成立／英支金融會議遂に無結果／上海工部局の不法発砲事件
 （欧米）ザルツブルグ独伊会谈／英仏ソ軍事会谈の悲哀／独ソ通商協定成る／犬猿の独ソ握手を交はす
 ／独波關係愈々悪化す／ダンチヒ復帰宣言迄／英独虚実の外交戰展開／ヒ総統対仏覺書發表さる／独対
 英交渉経過を發表す／英波互助条約正式に成立／英国防全權法の成立／英国首相外相の歴史的演説／英
 仏首相ナチ政權を痛撃／ヒ総統対波進撃を命令／英仏両国対独宣戰／イギリス戰時内閣成る／英・戰時
 禁制品發表／英帝ラヂオ御放送／ル大統領の平和親電／白、和両国和平會議を提唱／イタリーの中立的
 態度／米国・中立を宣言す／欧洲戰勃發と各国の態度／英自治領等統々參戰／仏国・波蘭問題交渉経過
 發表／ドイツ最高国防會議

協會ニュース——自八月十六日至九月十五日……………一六六—一六九

午餐談話会／國際問題特別研究会／特別委員會／午餐談話会／地方支部／訃報／太平洋問題調查部

編輯後記……………一七〇—一七〇

第一九卷一一号（一九三九年一月一日）

租界の所謂中立性……………東大名譽教授・法博 立作太郎 一—一五
 帝國外交打開の方途——対支媾和条件の具体的示現……………外交協會・元総領事 田村幸策 一六—二三
 孤立の原因は支那問題／日蘇關係の特異性／英米は異体同心／日本の根本方針／対支要求の具体的示現

第二歐洲大戰の変態と基因……………	台拓顧問・元公使 木村銳市	二四一—三二
新支那中央政府の任務……………	中日実業副総裁 高木陸郎	三三一—四一
随筆・随評……………		四二—五五
白紙外交論(法学博士 津村秀松)／梁啓超と汪兆銘(興亜院 波多野乾一)／和平工作の触壳(元大使・		
法博 松田道一)／情勢の判断(東京朝日 重徳泗水)／大使以上の大使(読売主筆 高橋雄豹)		
上海租界の人口益々減少——なんと一日平均数千名が……………	法学博士 細野軍治	四五—四五
歐洲戦争と米国の動向——参戦は不可避か……………		五六—六〇
世界商船噸数——日本は第三位……………		六〇—六〇
歐洲大戰とソ聯の動向……………	東日ロシア課長 馬場秀夫	六一—六六
国際漫画……………		六七—七〇
CLEMENCEAU AND HITLER／THE GORILLA AGAIN／HALF THE WORLD／NO FOOLING		
時評……………	稻原勝治	七一—九四
日露停戦協定成る／協定の描く波紋／ポーランド亡ぶ／ロシア買収の為に／複雑な英国の態度／中立		
国争奪戦始まる／和平のゼスチューア／中立法修正を繞りて……………	編輯部	九五—一〇六
国内政情……………		
阿部内閣の新政綱／新政綱は企画院を中心として具顕／首相の権限強化問題／農商両省対立と専任農相		
問題／専任外相設置と外交陣刷新／陸軍の大異動／政務官の決定／総動員法六勅令の発動／地方長官会		
議／貿易省新設決定／貿易省案に対する外務省の反対……………		
時報……………	編輯部	一〇七—一六五

(東亜) 支那派遣軍総司令部創設／ノモンハン事件終る／新中央政權樹立運動／鼓浪嶼問題解決／支那沿岸封鎖強化／国民参政会議第四次大会／蒋介石四川乗取完成／王寵惠の対米和平調停要請	
(欧米) ワルソー攻防戦概要(九月一日―十日)／ヒ総統ダンチヒ演説／チエ首相の反駁演説／独逸対波作戦終了を宣言／独逸対波戦綜合発表／独軍ワルソーに入城す／西部戦線は小競合／ソ聯の波蘭侵入／独ソ政治經濟提携成る／英情報省対独強硬声明／英政府対独交渉の内容発表／独逸英仏に宣戦撤回要望／英首相戦争遂行を言明／英国戦時予算を発表す／仏国戦時内閣成立す／仏国の共産党弾圧／トルコ外相の訪蘇／蘇エ互助条約成立／蘇聯ラ国に強圧を加ふ／ソ聯リ国へも手を延ばす／独ソの威圧に苦悩の羅国／チアノ伊外相の訪独／ヒ総統の対英仏最後提案演説	
協会ニュース——自九月十六日至十月十五日	一六六―一六八
特別調査部／午餐談話会／婦人部談話会／特別委員会／午餐談話会／学生支部／太平洋問題調査部	
編輯後記	一六九―一六九

第一九卷一二号(一九三九年二月一日)

グルー米大使に答ふ	覆面子	一―一
支那新中央政府の性格	東日東亜調査会主事 中保与作	一二―一六
ソ聯邦とバルト及び北欧諸国——ソ聯恐るべきか	前特命全權公使 佐久間信	一七―三〇
欧洲戦争とバルカン	読売外報部長 鈴木東民	三一―三七

歐洲大戦と伊太利の立場……………東京商工会議所参事 円地与四松 三八―四五

随筆・随評……………四六一五六

牛の塚由来記（名古屋控訴院長 大森洪太）／巴里のお腹（東京帝大教授 高柳賢三）／民族の弁（貴族

院議員・法博 織田万）／英独の争覇（特命全権公使 藤井啓之助）

新刊紹介……………五〇・五六

東京帝国大学教授高柳賢三著 *A Japanese View of the Struggle in the Far East* 日本国際協会／神田正雄著

『広西省綜覧』 海外社

民族主義運動理論……………外務省東亜局 萱原信雄 五七一六二

緒言／狭義の民族主義運動——民族自決、民族解放運動／先進国民族主義運動——大民族主義運動／結

言

貿易省問題を繞る外務省事件の真相……………山村伸一 六三一七〇

貿易省設置要綱の閣議決定に至る迄の経緯／全省員の蹶起と外政一元擁護のための行動／交渉の決裂と

辞表の提出／事件の解決／後記

国際漫画……………七一―七四

THE "NEUTRAL"／OUT ON TWO DIFFERENT LIMBS／MEDITERRANEAN PUBLIC BATHS／CASH-

AND CARRY I

時評……………稲原勝治 七五一〇二

米国の意図を語る／中立法修正成る／英首相答ふ／その批評／モロトフの長広舌／演説を評す／トルコ

を争ふ／火はバルカンへ

国内政情

編輯部

一〇三—一二

貿易省問題結末つく／問題の解決と派生して起つたもの／農相專任決定厚鉄相專任問題／野村外相の外交方針／事変処理の方針確立／米穀政策の樹立／税制改革案大綱成る／明年度予算編成／政党その後の動向

時報

編輯部

一一三—一八三

(東亞) 野村外相の就任第一声／汪兆銘の中央政權樹立運動／日米關係打開の氣運動く／日ソ關係漸次改善さる／上海租界問題の近状／鼓浪嶼問題協定成立／重慶政權と国共の相剋事情
(欧米) チャーチル海相の対独硬論／ロイドジョージ氏の軟論／仏首相独の背信を痛罵／チエ首相独提案を峻拒／英国またも白書を発表／英蘇バーター協定成る／英帝国々防會議／リ独外相英国を痛罵／英首相の演説及報告／英外相戦争目標を闡明／ヒ綏統ミュ市演説と爆彈事件／白蘭両元首重要會談／ソ芬關係風雲を孕む／北欧諸国元首會議開かる／蘇土會談妥結に至らず／英仏土互助條約成る／ソ聯・旧波領歸屬表明／ソ聯最高會議開かる／モロトフ蘇外相の重大演説／蘇外相革命記念日の演説／イタリ―内閣大改造／伊希友好促進の公文交換／伊国紙コミンテルン痛撃／波蘭新内閣成立す／米国は波蘭の存在を認む／米国中立法修正成る／米船フリント号事件／パナマ汎米會議

欧洲戦争日誌

外務省欧亜局

一八四—一九四

協会ニュース——自十月十六日至十一月十五日

一九五—一九九

午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／理事会／婦人部／國際問題特別研究会／時局問題特別委員會／午餐談話会／太平洋問題調査部／地方支部／学生支部

編輯後記

二〇〇—二〇〇

第二〇卷一号（一九四〇年一月一日）

学生懸賞論文当選者発表	日本国際協会	巻頭
日支の将来	元外務大臣 佐藤尚武	一一一
事変処理と新政権	貴族院議員・陸軍中将 坂西利八郎	一二一
事変勃発の遠因／事変勃発の近因／事変処理の要諦／新中央政權の樹立		一九
東亜の現段階と三民主義の發展的修正	早坂二郎	二〇一
三民主義打倒より修正へ／三民主義の發展性／三民主義と東亜の現段階／三民主義の性格と特徴／民族主義の根本志向／民族主義の現段階的使命／民権主義の甦生／民生主義の現段階的方向／結語		三八
新刊紹介 長谷川了著『現代外交講話』白揚社		三八一
中立国船舶の拿捕臨検と英国公布の枢密院令	元大使・法博 松田道一	三九一
序論／本論／結論		四七
随筆・随評		四八一
パデレフスキーと蜘蛛（元公使・法博 笠間杲雄）／ヴェルサイユ（東京帝大教授 高柳賢三）／欽廉地方と崑寧（元大毎東亜通信部長 沢村幸夫）／中村進午博士と国際法（東京商大助教授 大平善梧）		五九一
国共關係の新段階	日本国際協会 山野義一	六四
ソ聯外交政策の新動向	早稲田大学講師 平竹伝三	六五一
新刊紹介 英修道氏著『中華民國に於ける列国の条約權益』丸善		七〇一

第二次欧洲大戦とユダヤ問題……………井東憲……………七一―七五

あちらの話……………七六一―七六

ドミトロフの返り咲き、／ヒトラーと金髪嬢

国際漫画……………七七―八〇

THE GREAT WHAT-IS-IT／THE DIFFERENCE／THE RED PUPPET／TIME FOR A FIRM FOOTING

時評……………稲原勝治……………八一―一〇四

動く英米両国／ロシアの態度／日露接近を恐る／通商条約を繞りて／満蒙国境委員会／欧洲戦乱とイン

ド／露芬国交断絶まで／二つの政府

国内政情……………編輯部……………一〇五―一一五

専任鉄厚相補充問題／町田総裁拒絶の真相／内閣補強の効果／事变処理と軍の動向／陸海軍の定期異動

／其後の貿易省官吏制度改革問題／政党の動きと議會召集／税制案と予算案大綱決まる

時報……………編輯部……………一一六―一五八

(東亜) 東亜新秩序の基本理念審定／汪氏三民主義に関する見解発表／日蘇間懸案解決交渉の展開／在

支現地諸懸案逐次解決に向ふ／英仏北支駐屯軍の引揚げ／東京湾上陸に関する我方の態度／日泰航空協

定成立／重慶六中全会開かる／重慶政權と国共関係／重慶の対雲南工作難航す

(欧米) 野村ケルー会談と其反響／日本郵船照国丸沈没事件／日本・英の独貨拿捕に抗議／蘇芬国交遂

に断絶／蘇聯対芬攻撃を開始す／芬蘭側の戦況公表／芬蘭内閣総辞職す／ソ聯テリヨキ芬政權と互助条

約／蘇芬紛争と独伊の立場／米蘇関係悪化する

欧洲戦争日誌(二)……………外務省欧亜局……………一五九―一六一

日本国際協会役員……………

一六一―一六一

協会ニュース——自十一月十六日至十二月十五日……………

一六二―一六七

時局問題特別委員会／午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会／国際

問題特別研究会／時局問題特別委員会／午餐談話会／特別調査部／地方支部／学生支部／太平洋問題調

査部……………

編輯後記……………

一六八―一六八

第二〇巻二号（一九四〇年二月一日）

日米両国の伝来的關係に就いて……………

貴族院議員・元大使 出淵勝次

一―八

輸出促進策と其の効力……………

伊藤丸之内事務所長 木村孫八郎

九―一九

戦時輸出の使命と其機構／円ブロックと第三国貿易／輸出促進の余地／今後の諸問題……………

米国の独・伊に対する通商上の措置……………

通商局勅任事務官 水野伊太郎

二〇―二七

第二大戦と中立国の動向……………

長谷川進一

二八―三五

随筆・随評……………

三六―五一

無憂宮を訪る（東大教授 高柳賢三）／宣伝と智識人の良心（清沢洌）／より重要な見方（大熊真）／「通

商」と「貿易」といふ語について（通商局領事 朝日五十四）……………

全支海關収入増加……………

五一―五一

シユペー号自爆を繞る外交戦

国民外報部長 一原有常

五二一五八

轉換の岐路に立つフランス

岡本和夫

五九一六六

我国と南洋諸植民地との經濟關係〔※學生懸賞論文第一等當選〕

神戸高商學生 前川貫一

六七一八二

序言／南洋の資源／南洋資源と日本／労働關係／投資關係／商品關係／結言

國際漫画

八三一八六

¿QUIEN GANARÁ? / THE "INSURANCE" MAN / CORNERED! / THE BOOK RACK

時評

稲原勝治

八七一〇七

揚子江開放を言明す／『無條約狀態』を避く／有卦に入つた米國／漁業暫定協定成る／氣に病む米國／和平斡旋への定石／『委任統治を認めず』

国内政情

編輯部

一〇八一八

政局に暗雲漂ふ／政府と物価委員との懇談／阿部内閣に対する軍の意向／議會に於ける有志代議士会とその内部に潜むもの／政党の対政府觀／政府のこれに対する態度／事變處理の新段階／政界一般の客觀的情勢／第七十五議會と各派の態度／議會成立／次の政局担当者

時報

編輯部

一一九一五四

(東亞) 新支那中央政權に対する協力方策決定／汪兆銘和平運動一周年放送／揚子江及び珠江開放声明／日ソ漁業暫定協定成立／國境確定に関する日ソ交渉／日ソ通商交渉開始／重慶政權を繞る諸問題
(欧米) 日印会商の経過発表／照國丸事件と独貨拿捕／日米關係稍好轉の兆／独戰艦シユペー号自爆／羅を繞る各國の動向／蘇の対芬進出遅々たり／蘇芬戰爭と聯盟／蘇勃通商協定へ／伊外相外交政策を闡

明／伊洪ヴェニス会談／米国大統領議会への教書／米国の彪大国防計画／米国文官並海軍異動／米海軍
作戦部長軍拡を強調／独逸委任統治国へ申入れ／英国内閣一部改造

欧洲戦争日誌(三)

外務省欧亜局

一五五―一五七

協会ニュース——自十二月十六日至一月十五日

一五八―一六一

理事会／時局問題特別委員会／午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会／理事会／時局問題特別

委員会／地方支部／学生支部／太平洋問題調査部／日本国際協会役員

編輯後記

一六二―一六二

第二〇卷三号（一九四〇年三月一日）

謹告（※用紙統制への対応に関する社告）

社団法人 日本国際協会

巻 頭

支那新政府と主権及独立問題

報知論説委員 小室誠

一―一二

新政権樹立の意義／新政権成立後の将来／事変戦争の目的如何／国際法の原則のみでは不可／一方的要
求の形式已むなし／政治的不平等の實在／条約締結による干渉の合法性

ソ聯と芬蘭

東日主幹 布施勝治

一三―一二二

バルカンの新情勢

大使館参事官 寺嶋広文

二三―三三

バルカン問題とダニューブ問題／現状維持はバルカン諸国のタブーなり／ダルダネス、ボスフォールを

狙ふもの／英国の肚／欧洲戦乱とバルカン

随筆・随評	三二―四三
煙に捲かれて（衆議院議員 田川大吉郎）／海南島教会茶話（貴族院議員・法博 下村海南）／外遊所感 の中より（吉岡弥生）／ウェスミンスター・アビ（東大教授 高柳賢三）	
道義禁輸	三四―三四
日米通商航海条約失効と其結果	四四―五一
欧洲大戦と印度の趨勢	五二―六一
伊東敬	
対日禁輸論者ピットマン〔※都新聞より転載〕	六一―六一
北支と外国ジャーナリズム	六二―六九
同盟通信天津支局 牧内正男	
多数の外字新聞／通信界展望／大戦を繞る宣伝戦／踊るジャーナリズム	
我国と南洋諸植民地との經濟關係〔※学生懸賞論文第二等当選〕	
東京商大学生 山本一郎	七〇―八四
序／資源問題／貿易關係／海運關係／投資關係／結び	
米国の対日政策〔※ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙に寄せた論説の要訳〕	
ウオルター・リップマン	八四―八四
国際漫画	八五―八八
LIVE WIRE AGAIN／CAMPAIGN AGAINST FINLAND／THE THINKER ON THE ROMAN TIBER／ BRITAIN AND INDIA	
時評	
稲原勝治	八九―一〇七
青島会談終る／日英『未完成諒解』／無条約時代に入る／禁輸問題を繞りて／四つの制裁案／二割五分	

増から一割増へ

国内政情

編輯部

一〇八一—一二二

阿部内閣の退陣まで／米内内閣成る／米内内閣の新方針／米内内閣と政党／議會の再開

奥地支那の經濟状態

時報

編輯部

一二二—一二三

(東亞) 第七十五議會に於ける有田外務大臣演說要旨／汪兆銘の対重慶(一月十六日) 声明／青島会談

の経過及内容／伊太利外相汪精衛支持表明／高宗武、陶希聖の和平運動離反／陶、高事件に関する蔣介

石声明／滿蒙国境交渉打切り／浅間丸事件に関する日英交渉／汪派和平救国運動の経過発表／米国対支

借款法案成立／滇越鉄道爆撃問題

(欧米) 日米通商条約の失効／米国海軍拡張に狂奔／対芬戦に蘇聯行悩む／トルコ独系造船所占拠／バ

ルカン協商会議／バルカンを繞る通商戦／ヒ總統ナチ七周年記念演說／イギリス閣僚の時局諸演說

協会ニュース——自一月十六日至二月十五日

一六七—一七一

協會事業再検討委員会／婦人部茶話会／午餐談話会／時局問題特別委員会／協會事業再検討委員会／特

別調査部／午餐談話会／学生支部／太平洋問題調査部

編輯後記

一七二—一七二

第二〇巻四号（一九四〇年四月一日）

謹告（※用紙統制への対応に関する社告）	社団法人 日本国際協会	巻頭
汝自身を知れ	法学博士 三枝茂智	一一一
米特使の訪欧	東朝論說委員 益田豊彦	一二一
アメリカの対日輿論	西沢英一	一九二
陸奥と小村	法学博士 信夫淳平	二七三
随筆・随評		三四七
ある人道主義者東亜を観る（東大教授 高柳賢三）／複雑怪奇と民族性（東日取締役 松岡正男）／孫文を憶ふ（読売東亜問題研究会主事 村田孜郎）／英国学校のぞ記（大阪外語教授 相沢正美）		四八五
最近蒋政権の動向	小口五郎	五四一
ドイツの戦時経済	横浜商專教授 小原敬士	五六一
再度の経済戦争／ドイツの戦争準備／戦時体制への移行／ドイツの戦時財政／戦時下の貿易		六二七
最近に於ける英米の極東政策（※学生懸賞論文第二等当選）	中央大学学生 武田恒夫	七三七
国際漫画		七四七
LONDON LIGHTS IN THE FOG／A TOUGH WORLD FOR A TEEOTALER／THE KEMAL ATATURK			

LINE / ACTIVITY ON THE PACIFIC / ASKED TO STAND BY

時評

稲原勝治

七九一—一〇五

支那新政府と米国／紆める禁輸案／ウエルズの和平行脚／鳥と魚との問答／薺蛇に終る／英伊関係緊張
 す／芬蘭を繞る争奪戦／『聖地』騒ぐ

国内政情

編輯部

一〇六一—一一六

紀元二千六百年詔書／政治の中心議會に集中／軍の政治干与問題／物動計画の概要／今後財政の見透し
 ／生産力拡充と低物価政策との関聯／日滿支経済計画方針／支那事変終了時期／予算の審議状態／産組
 の保険進出問題／斎藤舌禍問題の発展／今後の議會

時報

編輯部

一一七一—一五六

（東亞）新中央政權樹立に關し日支重大声明／上海租界問題逐次解決す／拉致独逸人引渡完了／米權益
 問題に關する外相答弁／米国対支借款確定／第三インター緊急極東會議／蔣政權の内部事情／国共地方
 勢力連りに摩擦

（欧米）日米關係は依然不明朗／日蘭仲裁々判条約の廃棄／ウエルズ米國務次官の訪欧／英独両巨頭戰
 争目的闡明／独ソ新通商協定成る／独逸外相の伊太利訪問／英伊石炭問題一応解決／芬蘭軍敗北に帰す
 ／芬蘭遂に和平交渉／蘇芬和平協定に調印／蘇芬戰と瑞典の態度／瑞・諾・丁三国外相會議／アルトマ
 ルク号事件

歐洲戰況日誌(四)

外務省欧亜局

一五七一—一五九

協會ニュース——自二月十六日至三月十五日

一六〇—一六三

時局問題特別委員会／特別調査委員会／午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会／國際問題特別

研究会／午餐談話会／地方支部／学生支部／太平洋問題調査部	
編輯後記	一六四―一六四

第二〇巻五号（一九四〇年五月一日・創立二十周年記念特大号）

学生懸賞論文募集	社団法人 日本国際協会	巻頭
会員各位への御通知〔※本協会第二十回通常総会並に婦人部第九回通常総会の開催告知〕	社団法人 日本国際協会	巻頭
謹告〔※用紙統制への対応に関する社告〕	社団法人 日本国際協会	巻頭
真正国際平和機構――創立二十年の回顧	枢密顧問官・子爵 石井菊次郎	一―五
欧洲現戦争の態様	元大使・法学博士 松田道一	六―一三
欧洲大戦と将来の通貨問題	住友銀行取締役 大島堅造	一四―一九
支那中央政府と幣制問題	衆議院議員 大口喜六	二〇―二四
随筆・随評		二五―三五
日本国際協会の二十周年（枢密顧問官・男爵 松井慶四郎）／青淵翁の思出（外務編修官 大熊真）／故		
杉村大使と国際阿片会議（医学博士 宮島幹之助）		
東亜聯盟と欧洲聯邦	衆議院議員・法博 芦田均	三六―四〇
汪政権の成長する一つの過程	東日政治部長 吉岡文六	四一―四六

支那經濟の再編成……………興亜院 井村薫雄 四七一・五三

序言／旧国民政府の英米金融資本への隷属／新国民政府の英米帝国主義への態度／東亜永久の和平と東
亜新秩序の創設／結語

ソ聯の近東政策につきて……………法学博士 米田実 五四一・六三

ドイツの北欧作戦……………読売外報部長 鈴木東民 六四一・七〇

随筆・随評……………七一・八五

北欧の憶出（東朝東亜問題調査会 嘉治隆二）／神經戦争（東北帝大教授 新明正道）／スカイスクレー

パー（東京帝大教授 高柳賢三）／支那の異習奇俗（山口高商教授 西山栄久）／女史・女士・女郎（元

大毎東亜通信部長 沢村幸夫）

支那問題を繞る日英關係の現在と将来……………元総領事 田村幸策 八六一・九三

日米問題の核心……………外務省情報部長 須磨弥吉郎 九四一・九七

新たななる南方政策の観点……………中外論說委員 飯沢章治 九八一・一〇七

現代華僑問題の意義……………外務省欧亜局 市川恒四郎 一〇八一・一一八

ボンバードマンの訳語に就いて……………東京商大助教授 大平善梧 一一九一・一二一

国際漫画……………一二二一・一二六

THE WHOLE LIBRARY TO GO?／THE PEACE IN FINLAND／WHERE NEXT?／ITALY'S POSITION／
THE LIFE OF THE PARTIES

時評……………稲原勝治 一二七一・一二二

支那新中央政府成る／否承認を声明す／英国の態度／軍拡案下院を通過す／フィンランド屈す／バルカ

ン争奪戦へ／英国の対策／経済戦から武力戦へ

国内政情……………一五三―一六三

その後の議會／政党の動向／陸軍定期異動と機構の拡大／物価対策の方針決定／その他政府今後の方針

時報……………一六四―二〇八

（東亜）中央政治會議の経過及内容／中央政治委員會の内容／華北政務委員會の内容／新国民政府南京還都典禮／既成政權の發展的解消／阿部特命全權大使の渡支／新国民政府の青天白日旗採用／新政府の財政經濟政策／新政府樹立と英米の態度／軍管理の工場財産返還聲明

（欧米）我が通商調整具体化す／英海相とクレギー大使の演説／ウエルズ米特使帰国す／芬蘭の対蘇屈服事情／北欧三国軍事同盟流産／独伊巨頭ブ峠会談／洪首相テ伯の訪伊／独・米痛撃の白書発表／モロトフ外相の重大演説／仏蘇の關係悪化に向ふ／仏国にレイノー新内閣成る／英内閣改造・三相會議新設／英国バルカン対策に大重／英仏最高會議開かる／英首相戦争完遂を言明／諾威の対英抗議空し／英仏諾国領海に機雷敷設

歐洲戦況日誌(五)……………二〇九―二二三

協會ニュース——自三月十六日至四月十五日……………二一四―二一七

婦人部談話会／時局問題特別委員會／午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／時局問題特別委員會／協

会事業再検討特別委員會／午餐談話会／理事会／午餐談話会／太平洋問題調査部／学生支部夏期大学

編輯後記……………二一八―二二八

第二〇巻六号（一九四〇年六月一日）

学生懸賞論文募集……………	社団法人 日本国際協会	巻頭
本協会第廿回総会晩餐会に於ける有田外務大臣の挨拶……………	外務大臣 有田八郎	一―六
集団的保障の再考察……………	東大教授 横田喜三郎	七―一三
新刊紹介……………		一三一―一三
南洋協会編纂『南洋の華僑』南洋協会／清沢冽著『第二次欧洲大戰の研究』東洋經濟出版部		一四―二〇
欧洲戦局急転と米・伊の動向……………	東日論説部 永戸政治	二一―二七
米合衆国海軍の動向……………	斎藤忠	二八―三三
四次に互る建艦計画／二百五隻九十七万噸／飛躍する遠洋作戦能力／大艦巨砲への趨勢／両海洋海軍の		三四―四五
想念／西に攻勢、東に守勢／日本列島封鎖線の完成		
英国戦時經濟の帰趨……………	中外論説班 田中信太郎	二八―三三
随筆・随評……………		三四―四五
英語のおしやべり（東大教授 高柳賢三）／多角戦争の夢（高岡高商教授 細野日出男）／戦争の見透し		
（東朝論説部 重徳泗水）		
英国と云ふもの……………	外村哲郎	四六―五七
蘭印の現状と其重要性……………	松崎七郎	五八―六五
墨国大統領選挙と諸問題……………	在メキシコ 海野稔	六六―七一

動乱歐洲の立役者……………大毎調査部 小松茂男 七二—八二

ヒットラー／チエンバレン／ムツソリーニ／スターリン〔※本稿は John Gunther, *Inside Europe* の一九四〇年度改訂版のうち数節を摘訳したもの〕

あちらの話……………七二—七五

重慶の子供たち／林語堂曰く／蒋介石の後とり／紐育万博の悩み

国際漫画……………八三—八七

WHERE TO LOOK?／STREET SCENE／MUSSULYSES TEMPTED／STRICTY AS A SPECTATOR／
“RESERVED OCCUPATION”／WHAT!／PLENTY OF FUEL／CHURCHILL TEACHES THE NEUTRALS

時評……………稲原勝治 八八—一一五

蘭印と我が国／列国の反響／比島の反日移民法案／背後に潜むもの／タウシツグの暴論／両洋に迷ふ米
国／イタリー争奪戦へ／米国も参加す／ドイツ蘭白に乱入す

国内政情……………編輯部 一一六—一二五

一般状況／政府の施政一般／軍の政治経済上の指導／政党の動き

時報……………編輯部 一二六—一八六

（東亜）国民政府還都慶祝典礼／新国民政府の重要政令／南支軍広東港を開放／黄浦江上流の開放／国
民参政会第五次大会の経過／国共紛争の真相漸く暴露さる

（欧米）蘭印の現状更改を許さず／比島移民法議會通過／北米海軍力増強を急ぐ／蘇聯国防委員会新設
／独逸、丁抹を占領す／独逸の丁、諾進攻理由／諾威戦と独逸の発表——四月中／リ独外相国書第四号

発表／ヒ総統独諾戦争状態を布告／諾威に親独政権生る／諾威戦と英国の発表——四月中／諾威対独抗

戦を継続／英軍・中南諸威より敗退／チエ英内閣議会で辛勝／瑞典の中立確保さる／英独戦とイスラ
ンド地位／英独諸威戦と米国／英仏最高軍事会議／英伊関係急転悪化／西部蘭白国境に危機迫る

欧洲戦況日誌(六)

外務省欧亜局

一八七一—一九二

協会ニュース——自四月十六日至五月十五日

一九三一—一九九

午餐談話会／時局問題特別委員会／理事会／午餐談話会／特別調査委員会／午餐談話会／理事会／午餐

談話会／理事会／時局問題特別委員会／評議員会／全国支部長会議／通常総会／地方事務打合せ／地方

支部／太平洋問題調査部／学生支部

編輯後記

二〇〇一—二〇〇

第二〇巻七号（一九四〇年七月一日）

学生懸賞論文募集

社団法人 日本国際協会

巻頭

徳川家達公爵の薨去と本協会の弔辞

日本国際協会会長・子爵 石井菊次郎

一一一

徳川静岳公

本協会名誉会長・貴族院議員・男爵 阪谷芳郎

二一三

急迫せる欧洲情勢と我が国の立場

法学博士 鹿島守之助

四一二

事变処理方策の再検討

小室誠

一三—二三

事变戦争長期化の必然性／支那の抗戦能力と今後の形勢／解決方策としての宣戦論／宣戦と第三国関係
／ソ聯邦との提携論／仏印經由進攻作戦論／結局は常道的方策の推進／全面和平と第三国／結語——国

内体制強化の必要

欧洲戦時外交の検討……………台拓顧問・元公使 木村鋭市 二二―三六

大戦拡大とソ聯の態度……………東日ロシヤ課長 馬場秀夫 三七―四三

随筆・随評……………四四―五六

褚副使を迎へて（貴族院議員・法博 織田万）／マジノ線の錯覚（関西学院大学教授 神崎驥二）／カ

ヴォ・デ・ズブリエツト（東大教授 高柳賢三）／日・独防共協定とソ聯の秘密牒報機関（清沢冽）

欧洲戦の進展と重慶への影響……………同盟通信社編輯局 牧内正男 五七―六四

欧戦本格化す／依然たる対外依存／危い綱渡り／対英疑惑／当にならぬ外力／焦慮する重慶

最近の米国対日輿論……………長谷川進一 六五―七〇

諾威戦と独逸の謀略……………日本国際協会 山形誠一 七一―七七

まへがき／波蘭空爆の映画で脅す／市民は文字通り呆然自失／陰謀の巨魁は誰れ／エムデンとブリュツ

ヘル両号沈む／愚鈍スロモの英国を見縊る／ドイツの打つた大芝居〔※本稿は *The Chicago Daily News*

特派員ストウが米誌 *Life* に寄せた“*How a few thousand Nazis seized Norway*”を抜粋意訳したもの〕

日本国際協会の二十年……………本協会副会長・貴族院議員・法博 山川端夫 七八―八六

国際漫画……………八七―九一

THE LEANING TOWER／*PATIENCE*／*BULLETINS*／*WATCH THAT RAT!*／*NAZI MENACE*／*NEUTRALITY*

時評……………稲原勝治 九二―一五

蘭印問題の其の後／米国の態度／英国の回答／ドイツの申入れ／彪大な海軍拡張案／その狙ふもの／ド

イツ仏国に侵入す／仏国攻撃の意味／イタリーの参戦

国内政情

一般的鳥瞰／政府の一般施設の跡／新党運動の見透し

時報

(東亜) 国民政府答礼使節の来朝／日支交渉開始への準備進む／仏支借款契約に関し国民政府声明／邦人支那渡航者制限／北支の円系通貨受払制限令／北支軍不良邦人取締声明／天津現銀問題解決へ／ノモンハン国境確定成る／上海仏租界の管理米国移譲説／華北政務委員会委員長交迭／蘭印問題と日本の立場／交戦国の支那に於る事端防止を通告

(欧米) ペルーの排日暴動一応解決／訪伊使節で日伊親善に拍車／チャーチル英内閣出現／独軍蘭白ル三国に侵入／蘭軍脆くも降服／独軍仏領に侵入、猛進／レーノー内閣の大改造／独軍聯合軍を包囲／白軍降伏と聯合軍の潰滅／白国皇帝独軍に投降／白領三地方を独領に編入／英・対蘇接近に奔命／蘇聯ユーゴと接近／伊国の参戦切迫

欧洲戦況日誌(七)

外務省欧亜局

協会ニュース——自五月十六日至六月十五日

一六九—一九三
一九四—一九九

午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／事業検討特別委員会／午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会／理事会／午餐談話会／理事会／国際時局巡回記念講演会
——講師——山津外務事務官・林法学博士／太平洋問題調査部／学生支部

編輯後記

二〇〇—二〇〇

第二〇巻八号（一九四〇年八月一日）

東亜の安定と我が自主方針	法学博士 林毅陸	一―五
今後のフランス	東朝論説部員 重徳泗水	六一―二
米国の参戦問題とル氏の立場	東日論説部員 永戸政治	一三一―九
来るべき世界経済新秩序	大毎経済部長 桐原真二	二〇―二七
随筆・随評		二八―三七
ウオタルーの回想（東大教授 高柳賢三）／天津仇教案（沢村幸夫）／ヘーン大尉のことども（読売主筆 高橋雄豹）		
『極東の明星』——海外放送について	放送協会国際部 春木猛	三八―四六
仏印の現状と我が責務	元総領事 永田安吉	四七―五三
蒋政権下の党派の情况	泉信介	五四―六四
緒言／中国青年党の現状／国家社会党の現状／社会民主党の現状／第三党の現状／人民戦線派の現状／結論		
日本と支那の経済関係	衆議院議員・法博 小川郷太郎	六五―八〇
日支経済関係はどうあるべきか／東亜経済ブロックは如何に組み立てられるか／日支経済関係は現在どうなつて居るか／日支経済関係の現状を如何に改むべきか		
国際漫画		八一―八五

THE DESCENT OF MAN / ACROSS THE CHANNEL / KNOCK-OUT BLOW / WHERE THERE'S SMOKE /
PASSING THE TIN HAT

時評……………稲原勝治 八六一―一一四

有田外相の放送／仏印援蔣ルートを断つ／天津問題片づく／米国と参戦／参戦を阻むもの／対日輿論異
変／氣違ひ染みた軍拡／フランス降る／頻りに稼ぐロシア

国内政情……………編輯部 一一五一―一二三

一般的観測／種々の政治的諸問題／内閣の経済諸施政の跡／新政治体制の動き

時報……………編輯部 一二四―一九五

(東亜) 満洲国皇帝陛下御来訪／有田外相の東亜自主宣言／天津租界問題解決す／日泰友好和親条約調
印さる／香港及び緬甸の援蔣禁絶問題／仏印ルート援蔣禁絶問題／上海米駐屯軍の我憲兵に対する暴行
事件／上海に於ける仏蘭西側の態度／重慶爆撃に関する我態度／日満伊通商協定改訂

(欧米) 米とモンロー主義の解釈／米国の狂熱的大軍拡／米は依然として対日強硬／米共和党異変と同
党大会／独軍遂にパリに入城す／レイノー内閣瓦解す／ペタン内閣独に屈す／伊国独側に立ち参戦す／
独伊巨頭ミュンヘン会談／独・コンピエヌの屈辱を晴らす／独仏休戦協定の全文／伊仏休戦協定成る／
独・対仏作戦終了を発表／独逸・諾威作戦完結を声明／英国仏艦隊を攻撃す／英仏次第に乖離す／独
逸・白書第六号を発表／ソ聯ベサラビア回復／蘇聯沿バ三国を制圧

欧洲戦況日誌(八)……………外務省欧亜局 一九六一―一九九

協会ニュース——自六月十六日至七月十五日……………二〇〇―二〇五

午餐談話会／特別調査部／婦人部談話会／時局問題特別委員会——小委員会／午餐談話会／婦人部常務

委員会／国際時局巡回記念講演会——講師 高垣経済学博士・出淵前駐米大使／地方支部／学生支部
編輯後記……………二〇六一二〇六

学生懸賞論文募集……………二〇七一二〇七

社団法人 日本国際協会

第二〇巻九号（一九四〇年九月一日）

謹告〔※用紙統制への対応に関する社告〕……………社団法人 日本国際協会 巻頭

学生懸賞論文募集……………社団法人 日本国際協会 巻頭

新政治体制と支那の憲政……………貴族院議員 坂西利八郎 一一一〇

新政治体制の概念／重慶政權と新政治体制／南京新政權と新政治体制／憲政実施問題／新政治体制の効
果……………

均勢関係より見たる新欧洲……………報知論説委員 小室誠 一一一二一

地殻の変動来る／弱小諸国の存在意義／今次戦争と弱小国の抹消／欧洲均勢関係の変転／戦前の均勢関
係／英仏敗退の対欧影響／戦乱の対世界的影響／均勢関係の将来如何……………

ソ聯外交の動向……………東朝東亜問題調査会 嘉治隆一 二二一二九

ハバナ汎米外相会議の展望……………移民問題研究会 野田良治 三〇一四六

緊急開催事情／欧洲属領と米国／米国議會と欧洲属領問題／會議の議題／ハル國務長官等の演説／主な
議案／議事経過／會議の成果／會議の成績評価……………

随筆・随評……………四七一―五四

汽車に乗つて（東大教授 宮沢俊義）／緊切問題（貿易組合中央会 三枝茂智）／ジャンとアドルフ（東

大教授 高柳賢三）

東亜大陸縦断旅行の印象……………国民外報部長 一原有常 五五一―六二

米国極東政策の新展開……………田中勝俊 六三一―六八

ヒットラーの予言「我が闘争」実現近づく……………大毎調査部 小松茂男 六九―七五

第二次大戦宣伝戦の性格……………東朝調査部 丸山直一 七六―八二

今次大戦宣伝戦の特異性／独逸の戦時宣伝体制／米国に於ける英独の宣伝戦／英国の宣伝対策の誤算／

独逸宣伝機構の優越

時局下の経済問題……………枢密顧問官 三土忠造 八三一―九七

国際漫画……………九八一―一〇一

ANOTHER LETTER TO THE TURKS／A SHOOTING BOX IN ENGLAND／TWO-FISTED THREATS／THE

OLD ORDER CHANGETH

時評……………稲原勝治 一〇二―一二四

我が外交新体制／ビルマ・ルートの閉鎖／アジアはアジアへ／邦人逮捕さる／ハヴァナ汎米会議／芳ん

ばしからぬ成績／他の両項にも敗る／最後の平和攻勢

国内政情……………編輯部 一二五―一三五

一般的鳥瞰／米内内閣倒壊の原因／近衛公に大命降下とその組閣方針／新内閣の方針／近衛内閣の人事

行政／大本営連絡会議／基本国策要綱決定／新陸相の下、軍の陣容／新体制運動

時報

編輯部

一三六一八

(東亞) 松岡外相帝国外交を語る／香港及び緬甸の援蔣禁絶問題／英国日支和平の促進を要望／治外法権撤廃に関するウエルズ声明／英国我が外交路線を打診／日英間の間諜検挙に関する紛争／英国支那駐屯軍引揚げ／浙江、福建沿岸封鎖強化／盛京号事件／青島暴行事件解決す／上海のテロ防止領事団会議／重慶七中全会の内容／重慶政府和戦の岐路に悩む／事変記念日の蒋介石の対米放送

(欧米) 仏国新体制に入る／チアノ伊外相の訪独／ヒ綏統最後の対英和平提議／英・独の和平提議を一蹴／独伊の巴爾幹工作奏功／独・第六次白書発表／独フ経済相の重大発表／羅国の外交大転換／ソ聯・沿バルト三国併合／ソ聯近東地方に手を延す／モ外相ソ聯外交方針を闡明／ソ聯ク海相の演説／米蘇通商協定更改／米国更に軍拡に狂奔／米国・石油屑鉄も禁輸／ル氏第三期出馬と決す／リ大佐等の現状正視論

歐洲戦争日誌(九)

外務省欧亜局

一八二一八六

協会ニュース——自七月十六日至八月十五日

一八七一八九

午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／理事会／午餐談話会／地方支部／学生支部／太平洋問題調査部編輯後記

一九二一九二

第二〇卷一〇号 (一九四〇年一〇月一日)

謹告(※用紙統制への対応に関する社告)

社団法人 日本国際協会

巻頭

- 世界経済の再編成時代——日本の新体制運動に及ぶ……………伊藤丸之内事務所長 木村孫八郎 一―八
- はしがき／平和条約か好戦条約か／経済戦から武力戦へ／広域経済の問題／新体制の必然性……………
- スエズ運河をめぐるて……………外務編修官 大熊真 九―一七
- 近東争覇に英国優勝／イタリーの登場／英伊の致命的十字交錯／新興イタリーの意気／スエズ運河の中
立性／英埃同盟条約／英伊戦はどう展開するか……………伊東敬 一八―二八
- 濠洲聯邦の今後……………
- 白濠主義の実相／政治本位から経済本位へ／大西洋本位から太平洋本位へ／西南太平洋本位化の必然性
／濠洲今後の進路如何……………
- 随筆・随評……………二九―四四
- 若き人々に（名古屋控訴院長 大森洪太）／病膏盲に入る——僕の古本道楽の近情（中外商業編輯局長
小汀利得）／ロンドンの空襲（名古屋医大教授 鶴見三三）／チェシヤヤ・チース（東大教授 高柳賢三）
／マキアベリーとマキアベリズム（早大教授 藤井新一）……………三一―三一
- 戦争避難民と百万弗の宝石（※東日エコノミスト誌より転載）……………四五一―五一
- 蘭印に対する米国の経済関心……………日本国際協会 山形誠一
- はしがき／蘭印に於ける米国の投資／米の蘭印特産に対する依存性／むすび……………五二―六四
- 時局と我が財經問題……………北支開発会社総裁 賀屋興宣
- 新南方情勢認識の基調……………市川恒四郎 六五―八二
- 南方進出の必然性／貿易問題／海軍々備／民族関係／資源調査／文化工作／華僑問題／南方発展の可能
性と国内体制……………

国際漫画……………八三―八八

THE GERMAN ACHILLES HEEL / MUCH TOO TOUGH A NUT / NEW PUPILS AT DR. GOEBBELS'S
ACADEMY / SCRAM ! / GERMAN MEASLES / THE FRIENDLY COP / "FOLLOW THE LEADER"

時評……………稲原勝治 八九―一〇七

英米合作す／強硬態度にブリ返へる／米加共同防衛案成る／米露通商協定の更新／英国守備兵の撤退／

上海警備問題起る／日濠間の公使交換／ルーマニア削らる

国内政情……………編輯部 一〇八―一一八

一般情勢／国内一般施策／一般財經施設／新体制運動

時報……………編輯部 一九―一五一

(東亜) 阿部・汪交渉完了す／英駐屯軍撤退と上海防備問題／仏印問題と英米の態度／蘭印へ特派使節

派遣／滿蒙国境確定委員会開催／滿独貿易新協定調印完了／中国共産党最近の動向／重慶の動揺と遷都

説

(欧米) 洪羅交渉難航を続／独・伊・洪・羅維納会谈／羅・匈にト地方を割譲／羅・勃にも領土割譲

／羅国王遂に退位す／伊希関係騒然となる／米加共同防衛成る／英西半球諸島米に提供／米艦英領交換

協定／独・対英逆封鎖の工作／フ独経済相の重要演説／ヒ総統対英決戦を闡明／英首相抗戦を豪語

協会ニュース——自八月十六日至九月十五日……………一五二―一五五

午餐談話会／理事会／地方支部／国際時局巡回記念講演会(北海道)——講師―林元大使、神田正雄氏

／太平洋問題調査部

編輯後記……………一五六―一五六

第二〇卷一一号（一九四〇年二月一日）

詔書〔※日独伊三国同盟の締結に関するもの〕	1-1
日独伊同盟	2-18
三国同盟と支那事変	9-15
バルカン情勢の発展	16-22
随筆・随評	23-34
日米外交上の一考察（木下半治）／新兵器新戦術雑感（元大使・法博 松田道二）／「スタンレー探検記」を観て（立教大学教授 松下正寿）／白塔（東京帝大教授 高柳賢三）	25-25
同盟条約	28-28
軍用機増備をめぐる米国の不安〔※東日エコノミスト誌より転載〕	34-34
ジブラルタル軍港	35-48
歐洲戦争と我が対外貿易	49-55
新しき日伯友好を憶ふ——日伯文化協定の締結に際して	56-67
フランスの仏印経略史	68-75
はしがき／西力東漸とフランス／西洋と印度支那／フランス初期の活動／仏人ビニョーの活躍／仏安間	68-75
の葛藤／トンキンへの進出／安南の独立喪失／清仏の交渉及び交戦／仏の印度支那経略完成	68-75
文化外交に関する一考察	68-75

文化外交の理念／文化と文化人／文化外交の目標

国際漫画……………七六―八〇

〔※無題〕／THE JUDGEMENT OF PARIS ANEW／MIDST THE RUINS／ONE YEAR OF WAR／THE

CRAMER／THE DEBATE

時評……………稲原勝治 八一―一〇三

日独伊三国条約成る／新秩序と第三国／ロシアとの関係／条約と英国／気迷ふ米国／対日包囲陣へ／我が軍仏印に進駐／ハルの横鎗

国内政情……………編輯部 一〇四―一一三

一般情勢／外交問題／軍の動き／食糧政策に対する方針／総動員関係十一勅令発令／綜合国土計画案成る／閣僚補充並に参議決定／政府今後の施政方針／地方長官会議／大政翼賛運動の進捗

時報……………編輯部 一一四―一五六

（東亜）日・仏間に協定成立／日仏印協定と米国の態度／泰国の対仏印失地回復問題／日仏印協定成立と重慶政権／帝国仏印へ経済使節派遣／三国同盟成立と蒋政権

（欧米）日独伊三国条約成る／近衛首相決意を放送す／松岡外相地方長官会議訓示／三国同盟と米の反響／日独伊条約と英蘇紙論調／米国徴兵法を実施に移す／米海軍増強に大童／独伊巨頭ブ峠会談／チエ

英前首相野に下る／伊・ソマリ作戦を終了／伊軍の埃及進撃

日本の大共栄圏の貿易状態……………一二七―一二七

協会ニュース——自九月十六日至十月十五日……………一五七―一六一

午餐談話会／国際問題特別研究会／午餐談話会／婦人部茶話会／午餐談話会／理事会／午餐談話会／地

方支部／学生支部／太平洋問題調査部

編輯後記

一六二―一六二

第二〇卷一二号（一九四〇年二月一日）

謹告（※用紙統制への対応に関する社告）	社団法人 日本国際協会	巻頭
三国同盟と重慶政権	海外社社長 神田正雄	一―九
三国同盟と日本経済の新局面	中外論説委員 田中信太郎	一〇―一六
最近米国の動向	前総領事 蘆野弘	一七―二三
独蘇合作と世界変局	早大講師 平竹伝三	二四―三〇
ソ聯の極東赤化工作		三〇―三〇
重慶国民党への建議／中国共産党への指令／外蒙人民共和国への指令／極東赤軍への指令		三一―四五
随筆・随評		
鐘塔とモアア（東大教授 高柳賢三）／国民服茶話（体協会長・法博 下村海南）／四川の山水（読売東		
亜部長 村田孜郎）／フランス崩潰の責任者（名古屋医大教授 鶴見三三）		
ドイツに役立つチエコの兵器工場		四五―四五
三国同盟と地域平和	ドクトル・オブ・フィロソフィ 菱田静治	四六―五一
日本の集団的制裁条約放棄／三国同盟の成立／米国はどうする乎／三大民族対アングロサクソン二大民		

族の格闘／露西亜の態度／見透し

新刊紹介 飯沢章治著『南方共栄圏』高山書院……………五一―五一

比島独立問題と帝国の立場……………上智大学教授 景山哲夫 五二―六三

東亜に於ける比島の地位／比島共和国独立法／経済問題／再検討論の収穫／政治問題／比島独立と日本

ビルマ援蒋ルートの再開……………泉信介 六四―六八

国際漫画……………六九―七四

THE RUSSIAN ENIGMA／〔※無題〕／RAISING THE GATE／SO THIS IS LONDON?／MEDITERRANEAN
CHAMPIONSHIP／SOUTH FOR THE WINTER

時評……………稲原勝治 七五―九七

ビルマ・ルートの再開／三国条約の復讐／日・蘭印会商如何／浅黄頭巾を脱ぐ／ルーズヴェルト捷つ／

独軍ルーマニアに進駐／戦火バルカンに飛ぶ

国内政情……………編輯部 九八―一〇八

一般情勢／経済閣僚会議／重要人事の異動／官界新体制／日満支経済建設案成る／大政翼賛会／その後の会の運動

時報……………編輯部 一〇九―一三七

（東亜）滇緬公路再開に關聯し松岡外相談話発表／滇緬公路の再開／中南支軍管理工場の返還／皇軍南

寧撤退／在極東米国人に引揚勧告／日、仏印経済交渉経過／上海仏租界の法院接收／希臘船舶に關する

日希間諒解／重慶外交対策会議開催／重慶の対ソ関心と孫科の帰来

（欧米）独逸・羅国に進駐す／独・仏巨頭の会談／独・西両巨頭の会談／独伊フイレンツエ会談／伊軍

希臘に進撃／西国タンザール接收／米・対日経済圧迫を強化／英下・ゴール政権を指簇す／ル氏政戦に
大勝す

協会ニュース——自十月十六日至十一月十五日……………一三八―一四五

午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／婦人部委員会・談話会／特別調査部／午餐談話会／理事会／時
局問題特別委員会／午餐談話会／特別調査部／午餐談話会／時局問題特別委員会／東北六県国際時局巡

回記念懇談会——講師 坂西陸軍中将・林元全権大使／地方支部／学生支部／太平洋問題調査部

編輯後記……………一四六―一四六

第二一卷一号（一九四一年一月一日）

興亜外交小論……………同盟編輯局長 松本重治……………一―九

日支新条約の意義と効果……………元総領事 田村幸策……………一〇―一八

近衛声明と新条約との関係／満洲国の承認問題／三種の駐兵と撤兵問題／経済提携問題／治外法権の撤

廃及租界の還付／損害賠償問題／南京政府の正式承認

日本の経済と東亜貿易……………経済学博士 木村増太郎……………一九―二六

ドイツの基礎領域——領域政策と植民政策その現代的意義

……………慶大教授・経博 加田哲二……………二七―三三

随筆・随評……………三四―四五

技術の公開（国際汽船取締役 住田正二）／ジェーン・グレイの悲劇（東大教授 高柳賢三）／蘭印の思
ひ出（東日取締役 松岡正男）／阿倍仲磨（沢村幸夫）

東亜モンロー主義の重点——門戸開放と協議原則の問題……報知論説委員 小室誠 四六一―五七

ル大統領の東亜モンロー主義は認／門戸開放主義を如何にするか／協議原則提言の非実索性／アメリカ・モンロー主義の発展過程／汎米会議の本質／協議原則と制覇慾の残滓／東亜の特異性

西太平洋の危機……………中外論説委員 飯沢章治 五八一―六五

泰・仏印の葛藤と英・米及び日本……………松本悟朗 六六一―七二

はしがき／泰と仏印の領土関係／失地回復熱の擡頭／泰国と英米の策動／板挟みの泰国の苦境／日本としての用意

蘭印民族闘争物語……………守安新二郎 七三一―七九

今日の話 抗日支那学生の現状……………七三一―七九

国際漫画……………八〇―八五

〔※無題〕／〔※無題〕／OUCH！／THE MEDITERRANEAN PATROL／THE QUADRIGA THAT STUCK／

CLOSER AAD CLOSER

時評……………稲原勝治 八六一―一〇五

日支条約成る／その意味するもの／日支条約と英米／仏印を挟んで／失地回復に動くタイ／五十対五十の原則／躍進する枢軸外交

国内政情……………編輯部 一〇六一―一六

月間回顧／平沼男國務大臣就任／部局の統合／重要人事一束／選挙法問題一段落／会社經理統制令問題

／経済新体制案の生れる迄／翼賛会その後

時報

編輯部

一一七一—一四八

（東亜）日華基本条約調印さる／汪精衛の主席就任と対蒋和平勧告／日支両国間大使任命／松岡外相の外人記者団に対する談話／米国の援蒋一億ドル借款／英国の援蒋一千万磅借款／泰・仏印間の紛争拡大す／ヒットラー總統の対日メツセーヂ／羅馬尼の満洲国承認／アルゼンチン帝国公使館昇格／欽県の皇軍無血撤退

（欧米）モロトフ蘇外相の訪独／匈牙利三国同盟に参加／羅国も三国同盟に参加／スロヴァキアも参加／独伊・外交攻勢展開／土耳其の対独警戒／米国対英援助を強化／英首相演説と和平論／墨国新大統領就任す

協会ニュース——自十一月十六日至十二月十五日

一四九—一五二

午餐談話会／理事会／午餐談話会／時局問題特別委員会／婦人部／午餐談話会／地方支部／学生支部

編輯後記

一五三—一五三

第二二卷二号（一九四一年二月一日）

学生懸賞論文当選者発表	日本国際協会	卷頭
欧洲戦争目的の検討と米国の新態勢	元大使・法博 松田道一	一一—一〇
事変処理の目標	貴族院議員 坂西利八郎	一一—二〇

緒言／事変の紛糾／目標之選定／支那民族／事変処理の現在／結論	
日本と米國	東日論說委員 永戸政治 二一―二八
世界經濟の動向	大阪商工会議所理事・経博 猪谷善一 二九―三三
蘭印チャルダ総督と幕僚	守安新二郎 三四―三八
今日の話	三四―三八
戦禍甚しき支那の各大学／大学の遷移状況	三九―五二
隨筆・隨評	三九―五二
ゾルフ大使の御曹子（東大教授 高柳賢三）／時局と短歌（東京商大助教授 大平善悟）／菅沼貞風の墓に詣づ（早大講師 花園兼定）	四三―四三
戦争と金の行方	四三―四三
東亜情勢の多角的展開	同盟論說委員 牧内正男 五三―六二
世界的危機深化／帝国外交の基調／日米關係／米・英・重慶の合作／ル大統領の暴言／事態の複雑性／今後の見透し	六三―六七
支那辺疆民族の対日感情	井東憲 六八―七二
アラビアに於る英独の爭霸	特命全權公使 隈部種樹 七三―八一
アラビアに於ける列國の爭霸／アラビアの地位と資源とは列國の関心を惹く／第一次歐洲大戰後のアラビアの概略／今次の大戦とアラビア	七三―八一
仏蘭西の人口問題とアルサス・ローレーン	諏訪直道 七三―八一
アルサス・ローレーンの今昔／フランスの敗因／フランス在留の外国人／アルサス・ローレーンの人口	七三―八一

／フランスの外語分子／仏国人口の死亡超過／フランス国民の過老

国際漫画……………八二一八七

〔※無題〕／HIS INLAND SEA／ALONG DEMOCRACY'S HIGHWAY／BRITISH FRIENDS／THE MARCH

ON ALBANIA 1940／HOW LONG WILL IT LAST?

時評……………稲原勝治 八八一一一

英国借款を懇請す／軍国主義国家へ／反対論現はる／米国太平洋政策の強化／武力と経済力／日泰条約

と第三国／バルカンの複雑性／ロシアの立場

国内政情……………編輯部 一一二一一三三

はしがき／十六年度予算決定／総動員法六勅令実施／内閣改造断行／重要人事一束／主要経済政策決定

／官吏制度改革案成立／東条陸相年頭訓示及戦陣訓／議員倶楽部の組織／第七十六議会成立／翼賛会実

践要綱決定／中央協力会議開く／翼賛会の今後

時報……………編輯部 一二四一一五七

（東亜）日米協会に於ける松岡外相談／三国同盟混合委員会／新支那中央銀行成立／日・仏印間の通商

交渉／日泰友好親条約発効／日・蘭印金融協定成る／中南支沿岸封鎖強化／泰・仏印関係愈々悪化／

重慶の対共産党態度強硬

（欧米）伯林某工場に於るヒ総統演説／ル大統領の炉辺閑談／ル大統領一般教書を発表／ル大統領予算

教書を発表／米・対英援助を強化／米海軍の大編成替／英海軍の不法臨検／英外相駐米大使に／洪・ユ

友好条約調印さる

協会ニュース——自十二月十六日至一月十五日……………一五八一六二

婦人部談話会／午餐談話会／時局問題特別委員会／午餐談話会	一六二―一六二
編輯後記	一六二―一六二

第二一卷三号（一九四一年三月一日）

アメリカと国際法	立教大学教授 松下正寿	一―一二
米国に於ける国際法の地位／対欧州政策と対欧州国際法／対米洲政策と対米洲国際法／対東亜政策と対東亜国際法		
米国の対日強硬策	海軍大佐 広瀬彦太	一三―二一
〔※二〇ページ下段に誤植（第二一卷四号二五ページに訂正記事）〕		
米国の対日動向	東日欧米部 百々正雄	二二―二八
岐路への驀進／背後の推進力／米国の二段構へ		
蘭印問題の将来	元公使 三宅哲一郎	二九―三五
支那各大学の現状		三五―一二
随筆・随評		三六―五六
米国にも正論（東朝論説部 嘉治隆一）／蘭印への警鐘——インドネシア民族の動向（北御門正夫）／ヒットラーの行き方（伊藤丸之内事務所長 木村孫八郎）／高齡八十歳の国際法闘士（ドクトル・オヴ・フイロソフイ 菱田静治）／ザベリヨの日本観（東大教授 高柳賢三）		

国共の合作から相剋まで……………元外務政務次官 松本忠雄 五七一六四

国共合作の経路／本質的には対立／抗争遂に激化／妥協工作行はる／新四軍との衝突／決定的分裂は未
し

中央儲備銀行設立と重慶幣制の危機……………鎌田泰 六五一七〇

日支提携の根本義〔※学生懸賞論文第一等当選〕……………神戸女学院 氏家貞子 七一―八二

まへがき／支那事変の根本原因／東亜に於ける新秩序の要望——日支提携の必要性／むずび

国際漫画……………八三一八八

A PILGRIM ? / NO TIME TO LOSE / THE CONVOY / BETWEEN THE DEVIL AND THE DEEP BLUE SEA
／ HE WHO LAUGHS LAST / THE NEW ORDER

時評……………稲原勝治 八九―一一〇

タイ仏印停戦成る／停戦と我が国／暫定漁業協定成る／ロシアの真意如何／現物貸与案の提出／法案を
繞る論議／反対論の種々相／法案下院を通過

国内政情……………編輯部 一一―一二二

はしがき／政府と民間懇談会／政戦両略の融合／東亜聯盟等を排撃／国土防空強化策決定／選挙法改正
に対する政府の動揺／議員クラブ総会／議会再開と其特色／政府と議会との交渉／議会に現はれた論点
／重要案件続々可決／翼賛会に対する政府議会の掛引

時報……………編輯部 一二三―一六五

（東亜）松岡外務大臣の議会演説／松岡外相の議会に於ける答弁／帝国の調停により泰仏印間停戦／泰・
仏印紛争調停（東京）会議／日ソ漁業暫定協定成立／日・仏印東京会談経過／新四軍解散事件と国共関

係／蘇支バーター協定成立

(欧米) ヒ総統ナチス政權記念日演説／英首相グラスゴー演説／独ソの協力強化さる／武器貸与案提出
さる／武器貸与案と米閣僚証言／ケネディ氏らの参戦反対／米は外交攻勢に動く／ル大統領三期就任の
演説／羅国のア將軍の独裁内閣／ヴィシー内閣ぐらつく

協会ニュース——自一月十六日至二月十五日……………一六六—一七一

午餐談話会／特別調査部／婦人部／談話会／午餐談話会／地方支部／学生支部／太平洋問題調査部

編輯後記……………一七二—一七二

第二一卷四号（一九四一年四月一日）

帝国對外施策の指向と態容……………報知論說委員 小室誠 一—一三

危機の加重と対英米關係／極東の危機とソ聯邦／三国同盟と南方動搖の影響／国策指向の決定素たる

『環境』／ソ聯邦の存在／經濟条件の要請／対北方政策如何／対南方策如何

經濟的自衛……………法学博士 三枝茂智 一四—二五

内閣戦争より総力戦へ／經濟戦の第一重要性／国防と經濟的国防／世界の欧洲化と海賊横奪世界經濟体制／經濟ブロックの登場／國際政治に於ける社会主義の俊拒／超米資本的帝国主義の經濟的侵略目標としての日本／日米は既に戦つてゐる／經濟国防同盟としての日、独、伊同盟／世界新秩序即ち新國際主体主義と平和

前号誤植訂正〔※広瀬彦太「米国の対日強硬策」の修正〕	二五―二五
独のバルカンに於ける外交攻勢	二六―三三
新らしきフランスの建設へ	三四―四〇
国家／植民地保全／全国民的革命／家庭／教育の改革／勤労	
随筆・随評	四一―五五
ウツズ未亡人の手紙（貴族院議員 永田秀次郎）／外交挿話（外務編修官 大熊真／ドータア・オヴ・	
サムライ（東大教授 高柳賢三）／真如親王（沢村幸夫）	五六―六一
米国の武器貸与法成立	六二―六七
南洋の民族問題	六八―七三
仏蘭西の「不在首相」叛逆將軍ド・ゴール	七四―七八
国際漫画	
IN THE SAME BOAT／UNCLE SAM NEEDS SPOTTERS, TOO／ALL ROADS LEAD TO ROME／NEAR EASTERN AUTOGRAPHS／FUN IN DENMARK	
時評	七九―九八
東京会談開く／英国外交の手動く／フランス譲る／米国の対露媚態／我が国への示威／現物貸与案上院 通過／枢軸外交の進展	
国内政情	九九―一〇九
月間回顧／翼賛会予算を繞る種々相／その他主なる問題／陸軍の定期異動／陸軍の分限令・進級令改正 ／予算実施方針と陸相の決意／国内政治動向と翼賛会改組	
編輯部	

新刊紹介 伊東敬著『現代印度論』大和書店……………一〇九—一〇九
 時報……………編輯部……………一一〇—一四四
 (東亜) 松岡外相訪欧の途に就く／泰・仏印紛争調停(東京) 会議／極東危機説と松岡メツセーヂ／重慶の内地と国共關係……………一四四—一四四
 (欧米) 伊・西・仏三国首脳会談／英・羅断交と勃・土不可侵／勃の三国同盟参加／独軍対勃進駐と英・勃断交／英外相の土・希訪問／ム首相対英抗戰継続を宣明／ヒ総統党綱領宣言記念日演説／ダラン仏内閣成る(承前)／ソ聯共產党大会開く／遂に武器貸与法成立す……………一四五—一四五
 協会ニュース——自二月十六日至三月十五日……………一四五—一四九
 午餐談話会／婦人部／午餐談話会／婦人部談話会／午餐談話会／國際問題特別研究会／婦人部研究会／談話会／地方支部／学生部／太平洋問題調査部……………一五〇—一五〇
 編輯後記……………一五〇—一五〇

第二一卷五号（一九四一年五月一日）

松岡外相行脚外交の意義 東亜共栄圏の経済問題	法学博士 鹿島守之助 上智大学教授 景山哲夫	杜団法人 日本国際協会	会員各位への御通知〔※本協会第二十一回通常総会並に婦人部第十回通常総会の開催告知〕
		巻頭	
		一一一〇	
		一一二〇	

序／生命圏の概念とその要求／絶対主権に就いての仮説／生命圏経済の実践的前提／東亜共栄圏の物質的可能性／東亜共栄圏の政治的可能性

バルカン戦争とソ聯邦……………東日ロシア課長 馬場秀夫 二一―二八

重慶の性格と国際路線……………日本国際協会 山野義一 二九―三五

随筆・随評……………三六―五〇

爆撃下のテンブル（東大教授 高柳賢三）／奇怪なるタムリンの死——蘭印参議・革新運動の父（外地問題研究所 守安新二郎）／愛・敬・進歩的文化主義（早大教授 杉森孝次郎）／春は日出づる国に輝く

（大審院部長 大森洪太）

宋兄妹の対米媚態泣訴ぶり……………四六―四六

参戦を脅威する米国の罷業……………日本経済聯盟対外事務局 一原有常 五一―五六

蘭印の経済的性格に就て……………鳳夢三 五七―六四

和蘭と蘭印の対独感情の相違／英蘭の因縁／何故和蘭は独逸に抵抗したか

日泰国交の開始……………前総領事 郡司喜一 六五―七三

国際漫画……………七四―七九

*THE BREAKWATER／FULL PRESSURE AHEAD／UNCLE SAM'S PROGRAMME／KEEP THE HOME
FIRES BURNING／BEAU GESTE？／BLOCKADE*

時評……………稲原勝治 八〇―一〇五

日露中立条約成る／米国の悩み／対英援助のデレムマ／独伊船を差押ふ／仏印の反日傾向／ユーゴと三

国条約／反独クー・デター起る／砲火挙る／露との不侵略条約

国内政情

編輯部

一〇六一—一六

展望／一般施設／内閣強化の実現／翼賛会改組成る／軍令部総長の更迭

時報

編輯部

一一七一—一五九

(東亜) 近衛首相対外方針を語る／地方長官会議に於ける大橋外務次官演説／国民政府還都一周年を迎ふ／南支航行遮断区域拡大／泰蘇協定成立／アフガン国経済使節団／日蘇漁区本年度競売の結果／英・米・蘭マニラ会談／米国の対蒋援助進行す／重慶の国共問題と八中全会

(欧米) 松岡外相の独伊訪問／日蘇中立条約成る／米大統領反枢軸国援助を声明／ヒ綏統戦歿勇士追悼演説／ユーゴ・三国同盟に加入／ユーゴに反独的内閣成立／爆発寸前の独ユ関係／独伊・希ユ両国に進撃す／蘇土友好宣言発表さる／蘇ユ不侵略条約成立す

協会ニュース——自三月十六日至四月十五日

一六〇—一六四

午餐談話会／事業再検討特別委員会／午餐談話会／時局問題特別委員会／理事会／午餐談話会／事業再検討特別委員会／午餐談話会／婦人部研究会／時局問題特別委員会／理事会／地方支部／学生部／学生部夏期大学

編輯後記

一六五一—一六五

第二一巻六号（一九四一年六月一日）

学生懸賞論文募集

社団法人 日本国際協会

巻頭

超非常時局所感……………	枢密顧問官・子爵 石井菊次郎	一―四
大東亜共栄圏の建設と対外関係……………	法学博士 田村幸策	五―一二
序言／新秩序と共栄圏と協同経済圏／大東亜共栄圏と支那事変／大東亜の範囲／共栄圏の根本理念／大東亜共栄圏に対する和蘭の反対／大東亜共栄圏に対する米国の批難／結言……………	大毎外信部長 長岡克暁	一三―一九
欧洲戦の成行と支那事変……………	法学博士 芦田均	二〇―二六
米国の参戦とモンロー主義……………	随筆・随評……………	二七―三九
近東の戦火（文化学院教授 木下半治）／早熟支那とギリシヤ（明治大学教授 関未代策）／日滿関税同盟（小樽高商教授 手塚寿郎）／インナ・テンプル・ホール（東京帝大教授 高柳賢三）……………	新刊紹介 高柳賢三著『三つの会話』文芸春秋社……………	三二―三二
上海租界の非常時——本年度共同租界参事会員決定の経緯……………	慶応大学教授 英修道……………	四〇―四七
序——上海の今日の姿／昨年度の選挙と租界の現実／本年度参事会員決定の経緯／結——一二の愚見……………	ソ聯の南進策——についてAとBの対話……………	四八―五二
全く援英に狂奔の米国……………	大毎調査部 小松茂男……………	五三―五八
米国が狙ふ拉米の軍需資源……………	日本国際協会 山形誠一……………	五九―七二
米国が要する大量の資材／ラテンアメリカに着眼／錫（ボリヴィアとの協定）／マンガンはブラジルとクーバ／チレ、メヒコ及ペルーの銅／狙はれたメヒコの水銀／クローム、タンゲステン、アンチモニ／ブラジルのニッケルと水晶／ゴムの米洲自給計画／米国が欲しがらぬ資源／国防資源争奪戦は続く……………	移民問題研究会 野田良治……………	五九―七二

国際漫画……………七三—七七

FOR THE HARD BOILED ONLY! / "WATCH YOUR STEP, BOYS" / OH-YEA! ? / "WOULD YOU
PREFER TO ENTER BY _" / THE SWORD OF DAMOCLES / THE CAMPAIGN IN THE ATLANTIC /
THE CAMPAIGN IN THE ATLANTIC

時評……………八〇—一〇一

日・仏印経済協定／ユーゴとギリシア／動揺するトルコ／イラク反英に起つ／危険なる綱渡り／参戦に
反対す／『戦ふの用意あり』

国内政情……………一〇二—一一一

はしがき／首相の時局談に見る今後の方針／鈴木総裁の一般方針／総動員審議会等の改組／企画院の改
組／物審改組を決定／文官制度委員会設置／官界新体制樹立方針／一般施政／陸軍の動き／改組後の翼
賛会／両院議員クラブ問題

時報……………編輯部……………一一二—一六七

(東亜) 松岡外相欧亜の旅より帰国／松岡外相帰還第二声／松岡外相帰朝後の大獅々吼／日蘇中立条約
発効す／日・仏印経済協定調印／泰・仏印平和条約調印／南支沿岸封鎖強化／上海共同租界の新機構／
英米の法幣援助協定成立／国民政府、清郷委員会設立

(欧米) ユーゴー無条件降伏す／クロアチア独立宣言／ス氏ユ国臨時政府主席に／希臘軍も遂に降伏す
／希新内閣は対独協力／ヒ総統国会にて獅子吼／米艦の護送問題具体化／ル大統領参戦の用意を言明／
米の枢軸国船舶徴用問題／リ大佐参戦に大反対／英イラク軍衝突す／英次第に苦境に迫込まる

協会ニュース——自四月十六日至五月十五日……………一六八—一七四

婦人部常務委員会／婦人部談話会／理事会／午餐談話会／評議員会／第十七回全国支部長会議／通常総会／地方支部事務打合せ／午餐談話会／理事会／午餐談話会／学生部／学生部夏期大学／太平洋問題調査部

編輯後記……………一七五―一七五

第二二卷七号（一九四一年七月一日・事変四周年特輯号）

学生懸賞論文募集……………	社団法人 日本国際協会	巻頭
海洋の自由と哨戒及護送……………	東大名譽教授・法学博士 立作太郎	一―一九
南京政府の強化を繞つて……………	海外社社長 神田正雄	二〇―二六
汪精衛とナショナリズム……………	東日東亜副部長 田中香苗	二七―三一
新刊紹介 アーミティジ著・古田保訳『アメリカ海軍』南北社……………		三一―三一
随筆・随評……………		三二―四八
リンカンス・イン（東京帝大教授 高柳賢三）／炉辺漫語（体育協会会長・法学博士 下村海南）／『重光大使モスコへ行く』（磯部佑治）／迷信打破難（沢村幸夫）……………		三六―三六
新刊紹介 伊東敬著『カナダ聯邦』海洋文化社……………		四九―五五
重慶の対米依存外交……………	同盟東亜部次長 牛島俊作	
外交第一主義／新外交部長郭泰祺／対蔣援助の限界とガウス新大使……………		

抗戦支那奥地建設の第一線——雲南省の近況……………東朝東亜部 宮本源七郎 五六—六二

滇緬公路について／雲南省の経済建設について／マラリヤについて／交通再建について／省政府の発展について／雲南省の人種について／むすび

英極東根拠地は昔の夢 シンガポールの軍備を衝く……………外地問題研究所 守安新二郎 六三—六六

今次欧洲戦とイタリア……………斎藤祐蔵 六七—七四

国際漫画……………七五—八〇

TOO MUCH SURF RIDING? / ONE MAN INVASION / ANOTHER CONTROVERSY / STRANGE
BEDFELLOWS / WORTH PAYING FOR / ISOLATED POSITION / A TUG OF WAR

時評……………稲原勝治 八一—一〇九

蘭印交渉を打切る／炉辺閑談前奏曲／客観状勢非也／海洋の自由へ／これに対する疑義／南中米に延びる米国の手／独仏協定成る／『仏領を奪はん』／トルコ枢軸側へ

国内政情……………編輯部 一一〇—一一九

前書き／科学技術新体制成る／物価審議会の運用方針／官界新体制その後の推移／麦類強制買入れ決定／工場の清掃運動／英貨為替不安防止と輸出の損失補償制度／産業巡閲制度実施／九・一八令停止令問題／平出大佐の放送／航空総監更迭／翼賛会の活動／両院議員団の動き

時報……………編輯部 一二〇—一二六

（東亜）本多大使の帰朝と京都談話／松岡外相、米のデマを粉碎／英米、支那の治外法権撤廃を約言／日蘭会商遂に決裂／日ソ通商協定仮調印／独逸経済使節団来朝／勃牙利、満洲国を承認／日本・イラン修好条約批准交換／仏印の敵性滞貨搬出／蒙古聯合政府行政機構改革

(欧米) ヘス副総理英に飛ぶ／クロアチア王国誕生／ソ聯外交の動向微妙／イラク軍遂に屈す／独伊両巨頭ブ峠会談／独、紅海を作戦区域とす／独軍クレタ島完全攻略／レーダー提督の対米警告／米、緑島を基地化／独英大海戦を展開／ル大統領の炉辺談話／イ英外相戦争目的を誇称／英米対仏関係悪化／英軍シリア進撃を開始

協会ニユース——自五月十六日至六月十五日……………一六一—一六六

午餐談話会／婦人部研究会／午餐談話会／婦人部談話会／午餐談話会／理事会／地方支部／学生部

編輯後記……………一六七—一六七

第二二卷八号（一九四一年八月一日）

学生懸賞論文募集……………社団法人 日本国際協会 巻 頭

超非常時局に臨む帝国の立場……………報知論説委員 小室誠 一—一三

参戦直前の危機／独ソ戦と米国の行動／長期戦に超然たり得るや／全面和平の困難／多難なる新建設／

対支援助の必要／対日協力を切望す／国民政府の承認と事変の多角化

欧洲戦争の新展開と英独對抗の将来……………元大使・法博 松田道一 一四—二三

独ソ開戦とその動向……………東日整理部 斎藤武 二四—三〇

独ソ開戦とその影響……………読売論説委員 鈴木東民 三一—三七

随筆・随評……………三八—五七

国際夢判断（元司法大臣・貴族院議員 宮城長五郎）／外政家としての大久保利道——最初の日支談判について（清沢洌）／グレイス・イン（東京帝大教授 高柳賢三）／パデレフスキーと波蘭（元大使館一等書記官 木村惇）

清郷工作とは……………五〇—五〇

新刊紹介 清沢洌著『外交史』東洋経済新報社……………五七—五七

英領東阿の近情……………在モンバサ領事 茂垣長作 五八—六四

緒言／英領東阿／英領東阿対本邦通商関係概略／通商に影響を及ぼせる戦時法措置／英領東阿に於ける対日感情／結語

世界変局と支那事変——世界大戦下の事変処理……………東朝東亜部 林俊夫 六五—七〇

南京政府の世界的発展／重慶政権の潰滅状態／支那事変の変貌／米国参戦以後の事変／南京政府への希望

支那を中心とする東亜の政局……………外務省東亜局長 山本熊一 七一—八七

時評……………稲原勝治 八八—一〇九

近衛・汪共同声明／南京政府を承認す／独露開戦まで／ロシアの立場／ドイツの立場／短期戦を狙ふ／開戦と英米／独土友好条約成る

国際漫画……………一一〇—一一五

URSUS VS. BLITZ／AN UNEXPECTED GUEST／SHOULD BE THE NEW PARTY LINE／ATLANTIC PATROL／A GOOD SAMARITAN／FINAL DIVORCE PROCEEDINGS

国内政情……………編輯部 一一六—一二六

はしがき／国内諸政策の実現／渉外事項／軍の動き／財政経済政策／第一回中央協力会議

時報……

編輯部

一二七—一八八

（東亜）御前会議重大国策を決定／汪精衛主席の来朝／独伊等八ヶ国の南京政府承認／国府へ借款三億円を供与／滿蒙国境確定作業を再開／日、泰、仏間条約批准書交換／日・仏印銀行間協定調印／日蘭会商不調に終る／南支沿岸第六次封鎖強化／支那事变四年の戦果公表／北支軍管理工場を返還／重慶政権の情勢

（欧米）クロアチア三国同盟参加／伊国参戦一周年と戦果／独土友好条約成立す／独蘇戦争の前奏曲／独蘇戦開始に際しヒ綏統布告す／リ独外相對蘇覚書を発表／蘇聯も戦闘命令を発す／独更らに三報告を発表／独蘇互に戦果発表（六月中）／蘇ス首相国民に蹶起要望／独蘇戦と枢軸勢力下の諸国／英蘇遂に軍事同盟／米国も蘇聯支持を発表／ロビン・ムーア号事件／米独国交断絶の一步前／米国アイスランド進駐／ル氏米独立記念日演説

協会ニュース——自六月十六日至七月十五日……

一八九—一九三

婦人部研究会／特別調査部／午餐談話会／特別調査部／婦人部委員会／婦人部談話会／午餐談話会／地

方支部／太平洋問題調査部／学生部

編輯後記……

一九四—一九四

第二二卷九号（一九四一年九月一日）

学生懸賞論文募集……………	社団法人 日本国際協会	巻頭
大東亜共栄圏の基本問題……………	法学博士 鹿島守之助	一―八
在米資産の凍結と我が国の覚悟……………	住友銀行常務 大島堅造	九―一四
対日包囲態勢の強化……………	中外論説委員 飯沢章治	一五―二二
米国参戦問題……………	立教大学教授 松下正寿	二三―三三
随筆・随評……………		三四―四七
ジャンヌ・ダルクの家（貴族院議員・法学博士 織田万）／血は水よりも濃し（東日取締役 松岡正男）		
／屋根の銀貨（日本国際協会 山野義一）／ソ聯の運勢（東京帝大教授 高柳賢三）		
米国の対枢軸理念……………	法学博士 乾精末	四八―五六
序言／対日態度／米国の対独理念／米国の真意／米国援英の意義／英国もだが先づ世界を救へ		
南米に於ける米の枢軸勢力排撃戦……………	日伯中央会主事 岡本和夫	五七―六六
新生国民政府の現状……………	室鉄平	六七―七六
軍事及び治安／外交／内政／財政／産業経済／文化教育事業		
国際漫画……………		七七―八一

PAWS OR PANZERS ? / A MONKEY WRENCH IN THE WORKS / LICKING ROOSEVELT'S BOOTS / FOR
ALL TO SEE / SITTING ON TOP

時評

稲原勝治

八二一—一〇四

仏印の共同防衛／その意味するもの／その描く波紋／米国の考へ方／タイ国からクレヂット／英米共同宣言／英露軍事協定成る／露波援助条約の成立

国内政情

編輯部

一〇五—一一五

前書／第三次近衛内閣誕生／新内閣の性格、外交方針／内政諸問題に対する方針／官庁事務の再編成／内閣更迭に伴ふ人事異動其他／宮中大本營に隨時参集／陸海軍諸施設／戦時財政經濟政策に関する方針／対米報復策決定／総動員審議会の決定勅令／両院議員クラブ結成運動／新交渉団体結成運動／鳩山系
 結成

時報

編輯部

一一六—一二五

（東亜）第三次近衛内閣成立／仏印共同防衛の協定成立／皇軍南部仏印へ増派／仏印共同防衛成立の影響／泰国及芬蘭の満洲国承認／日・泰間に借款成立す／対日包囲陣の策謀

（欧米）米・在米独伊資金を凍結／米国・日本資産凍結を強行／英通商条約を廃棄す／蘭印・英米に追隨す／我方・英米等に報復す／独蘇戦新段階に入る／仏シリア軍敗北す／ベル・エクアドル戦と日本／米国と葡領諸島問題／英内閣一部改造さる／武器貸与長官ホ氏渡英蘇／蘇波の国交回復声明さる

協会ニュース——自七月十六日至八月十五日

一一五—一二五

国際問題特別研究会／午餐談話会／臨時理事会／午餐談話会／午餐談話会／地方支部／学生部

編輯後記

一五六—一五六

第二二卷一〇号（一九四一年一〇月一日）

再版英米の平和——英米共同宣言を衝く……………	法学博士 三枝茂智	一—一四
序説／世界旧秩序／世界革命と世界新秩序／英米共同宣言の八点／第一版英米の平和との差異／共同宣言の狙ひ／全体主義の世界平和案を提示せよ		
太平洋を繞る日米……………	慶大教授 前原光雄	一五—二一
英極東勢力の牙城 シンガポール……………		二一—二二
援英の限界と米国の野望……………	東日論説委員 永戸政治	二二—二八
フランス復興難……………	東朝論説委員 重徳泗水	二九—三五
随筆・随評……………		三六—五〇
人世の夢（国際汽船取締役 住田正一）／毒饅頭の争奪（外務編修官 大熊真）／イラン昔物語（東大教授 高柳賢三）／日・仏印間文化の交流（医学博士 鶴見三三）		
比島独立問題と太平洋の危機……………	東朝東亜部 宮本源七郎	五一—五六
比島独立を放棄か／太平洋に於ける米の役割／比島の軍備／比島軍米軍に編入さる／隣組異変		
独ソ戦と米ソ合作の本質——独ソ戦の示唆するもの……………	早大講師 平竹伝三	五七—六三
米国参戦派五人男……………	飯島勉	六四—六七
ルーズベルト大統領／ハル國務長官／スチムソン陸軍長官／ノックス海軍長官／キンメル提督		
国際漫画……………		六八—七二

THE PROBLEM / THE BLACK SEA WATCH / THE CONFIDENCE / AFTER THIS WAR / GERMAN
"TOURIST" LINE UP

時評……………稲原勝治 七三―九八

米独関係の緊迫／イラン屈す／英露の魂胆／米国の立場／振はぬ労働祭放送／トルコを争ふ／中立を守るタイ

国内政情……………編輯部 九九―一一〇

月間回顧／総動員関係四勅令決定／第二回物審総会決定事項／米価対策最後の決定／米作状況／原価計算要綱成る／海運管理統制／二・四半期以降物動計画／十六年生産拡充計画／労務緊急対策／機構改革及人事／平沼男狙撃事件／大政翼賛会の運営／翼賛議員同盟の結成／興亜同盟の進言

時報……………編輯部 一一一―一三八

（東亜）近衛首相米大統領へメッセージ／日泰間に大使交換／泰国の中立態度表明／泰・仏印国境劃定委員会／滿蒙国境確定現地作業終了／福州攻略部隊転進／国民政府の機構改革／丁抹の滿洲国及び国府承認／米軍事使節団の重慶派遣

（欧米）英米巨頭洋上会談／英米対ソ会談を提議／英蘇イランに侵入す／独伊両巨頭の前線会談／米駆逐艦襲撃さる／米大統領ル氏の諸演説／チャーチル英首相の諸演説

協会ニュース——自八月十六日至九月十五日……………一三九―一四〇

午餐談話会

編輯後記……………一四一―一四一

第二卷一 号（一九四一年一月一日）

各広域圏の地政及び民族構成……………	法政大学教授・経済学博士 高木友三郎	一―一〇
広域圏の地政学／各広域圏の民族学……………		
独ソの外交と戦争……………	読売欧米部 遠藤一郎	一―一二
全体主義と共產主義の死闘／独ソの対立諸要因と政治的性格／独ソの経済的依存と諸矛盾／独ソ戦と独ソ関係の今後……………		
日本・蘭印・米国……………	林大学	二二―二八
特産品ゴムと錫／米国の対蘭印貿易／アメリカの対蘭印投資／蘭印の軍事的依存／戦略的依存性／日本・蘭印・米国……………		
濠洲の政変とその対日動向……………	伊東敬	二九―三五
はしがき／依然として不安定な政局／労働党新内閣要人の横顔／労働党の政策的立場／新内閣の対外政策如何……………		
満五十八歳になつたムツソリニ……………		三五―三五
随筆・随評……………		三六―四八
安南の一青年（名大教授・医学博士 鶴見三三）／鼠一匹（米内山庸夫）／最後のモスクワ見物（長谷川進一）／ペリリ提督の日本人観（東大教授 高柳賢三）……………		
西アジアに迫る英独争覇戦……………	田中勝俊	四九―五四

南洋華僑の動向と汪政權

井東憲

五五―六〇

独逸五人男

守岡新一

六一―六八

ゲーリング空相／リッペントロップ外相／ゲッベルス宣伝相／フンク経済相／ヘス副總統

国際漫画

六九―七三

CHALLENGE TO "FREEDOM OF SEAS"／AMERICA AND THE WAR／STEPPING ON THE GAS／
SKIPERS OF THE BATTLE OF THE ATLANTIC／TALKING ABOUT TEAM WORK

時評

稲原勝治

七四―九三

三国条約第二周年／モスコウ会談／奇怪なる幕／またもや中立法の修正／非中立法の無能化／商船の武
装／二つのニュース／法王庁抱込み失敗

国内政情

編輯部

九四―一〇五

はしがき／諸動員計画／米穀政策／十六年度節約予算決定／増税の延期／師範教育改善案／海事行政の
改革／臨時郵便取締の緊急勅令公布／軍部関係機構人事等／翼賛会の活動／翼賛議員同盟と国策貫徹同
盟

時報

編輯部

一〇六―一三〇

(東亜) 三国同盟一周年／仏印へ特派大使及調査団派遣／在波蘭大使館廃止通告／長沙作戰の意義／皇
軍鄭州を占領／日米交渉と重慶／米国の対蒋援助／英米マニラ会談(欧米) 英蘇両軍テヘラン進駐／イラン我公使館を圧迫／英米蘇モスコウ会談／ヒ総統対ソ必勝を確信
／独対ソ戦事実上終了とす／蘇勃の關係緊張す／防衛水域とアメリカ／中立法改廃とアメリカ

協会ニュース——自九月十六日至十月十五日……………一三一―一三四

午餐談話会／特別調査部／婦人部研究会／午餐談話会／地方支部／太平洋問題調査部／学生部	
新刊紹介 W・A・ローエ著・東健治訳『ドイツはアジアをかく見る』南北社	一三四―一三四
編輯後記	一三五―一三五

第二一卷一二号（一九四一年二月一日）

阪谷芳郎子爵の薨去と本協会の弔辞	日本国際協会会長・子爵 石井菊次郎	巻頭
現下日本外交の進路	長谷川了	一―一〇
大東亜民族主義の確立	日大教授 石井文雄	一一―一二
大東亜広域民族の指向	報知論説委員 小室誠	一三―一三三
大東亜共栄圏理念の発展／両事変と大東亜共栄圏理想／南進と大東亜圏理想／東亜民族の自覚未だし／		
泰国の理念的混乱／人種論と大東亜圏／理念の相違と大東亜圏／日本民族の調和性		
アメリカの意図するもの	同盟外国經濟部 村上正好	三四―四二
英米帝国主義の対立／大西洋支配にのり出す米国／アメリカの対中南米工作／ラテン・アメリカの性格		
／太平洋問題		
随筆・随評		四三―五二
幕末の防疫（慶大教授 野村兼太郎）／騎士道——幼年期（東大教授 高柳賢三）／成都の青羊宮（沢村幸夫）		

- ベルヒテスガーデンの女……………大毎調査部 小松茂男 五三一・五八
- 新刊紹介 木村鋭市著『世界大戦と外交』日本電報通信社……………五八一・五八
- 参戦蘭印と民族の動向……………外地問題研究所 守安新二郎 五九一・六五
- 独逸の占領地域経営……………鳥羽正 六六一・七四
- 沿バルト三国・ウクライナ／フランス、ポーランド其の他の諸国……………小池毅 七五一・八四
- 苦悶する重慶の輸血路……………稲原勝治 八五一・一〇七
- 時評……………編輯部 一〇八一・一一八
- 米国遷延す／遷延の理由／足踏みする米国／大統領の教書／中立法修正成る／トルコの価値……………編輯部 一一九一・一四九
- 国内政情……………編輯部 一一九一・一四九
- 月間回顧／（近衛内閣時代）食糧対策決定／大学専門学校卒業年限短縮／陸海軍その他異動／近衛内閣
挂冠／岡本少将の講演／（東条内閣時代）東条内閣組閣成る／東条内閣の使命／東郷外交の方向／新内
閣の下重要人事異動／政府諸施設／翼賛会の活動／議会召集と議会勢力の動き／むすび
- 時報……………編輯部 一一九一・一四九
- （東亜）第七十七議会に於ける首相及び外相演説／日米交渉と来栖大使派遣／日葡航空協定成立／純正
国民党四中全会／氣比丸触雷事件／香港の英米支経済会議／芳沢大使着任と大使府機構／重慶政權の動
向
- （欧米）米国芬蘭に停戦勧告／英国西亜諸国を制圧す／米の対蘇援助積極化／ヒ綏統米に応酬す／米蘇
巨頭対独非難に呼応／ル大統領海軍記念日演説／英首相の対日挑戦的言辭／米船の撃沈相次で起る／米
国中立法改訂成る

協会ニュース——自十月十六日至十一月十五日……………	一五〇—一五三
午餐談話会／常務理事会／理事会／婦人部談話会／午餐談話会／理事会／地方支部／学生部……………	一五四—一五四
編輯後記……………	